

2025年5月27日、実習生の山添君が担当患者様のレジュメ発表を行いました。題名は「殿部離床相で左前側方、伸展相で後方への不安定を認めた一症例」です。

発表前は大変緊張していたものの、発表が始まると、担当患者様の動作分析をもとに立てた仮説や統合と解釈を、しっかりと参加者に伝えていました。また、質問にも自分の考えをしっかりと述べていました。参加者がとても多く、沢山の質問や活発なディスカッションが続いたため、予定時間を大きく超過しました。山添君は、その助言や指摘を真剣な面持ちで聞いていました。発表が終ると、緊張から解放されたことと達成感とで何とも言えない表情が印象的でした。

今後もリハビリテーション科では学生指導に取り組み、理学療法士の質を向上させることで社会貢献してまいります。

(文責 藤原 智)

【担当患者様のレジュメ発表風景】

